

日刊 動労千葉

85. 11. 14
No. 2089

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五三五六(公衆)〇四七二(22)七二〇七

当局の「カーテン」攻撃に、怒りの総反撃! 職場闘争-団結を強化し、日株ストへ 1/9 銚子支部定期大会 開かる

11月9日、銚子支部第6回定期大会が開催され、勤務者以外全組合員が参加して去る9月の動労千葉第10回大会方針を踏襲するとともに、支部一丸となって団結を再強化し、闘っていく方針を満場一致で確立、成功をかちとった。(通信員 終)

支部一丸となって、
第一波ストうちぬこう

—西本支部長が挨拶と決意—

大会は、開会あいさつと司会を多田副支部長によつて始まり、議長に、伊藤乗務員分科会長が選出され議事が進められた。冒頭、西本支部長は、「7・26以降、国鉄当局は態度を一変させ、駅へ行つている助勤者に極めて許すことのできない選別攻撃をかけてきている。氏名札・ワッペン等で処分を乱発し、現在ではネックタイ着用と背面カーテンの全開まで強要してきている。支部は、これらの攻撃を一〇万人首切りの選別が開始されたこととして捕え、職場抵抗闘争として闘いぬいてきた。さし迫つた11月第一波ストライキに向つて、支部一丸となって団結を強固にし、本大会をもつていよいよ重大な時機が来たという認識をお互いに確認し頑張つていこう」と力強いあいさつをおこなつた。

つづいて、来賓として参加された銚子地区労・山口議長、本部・中野委員長からあいさつを受けたのち、執行部側から経過報告と方針が提起され、質疑に入つた。

活発な討論で闘争と団結を強化

質疑討論も必然的に活発となり、それぞれ代議員から大要次のようなことがだされた。

- ① 一層の団結をはかり、今までより強気の運動を組織化してほしい。
- ② 背面カーテン問題で各自にアンバラがある。強化に向け、統一方針を明示すること。
- ③ 情勢をよりの確に把むため、支部主催の総学習運動を開催してほしい。等々が出された。

執行部側より建設的意見は、具体的に方針化することを答えとし、とくに本大会の名において、背面カーテンは、本部の指示をおおぎながら、支部として、当局が選別の為の手段として管内全線でチェックする対応に出てくる動向に抗議して、「全員が一斉に閉めて乗務する」事を確認決定した。

こうして第6回定期大会は、終日熱気あふれる中で成功裡に終了した。

木更津、千葉両地域集會の大成功につぎ、
つぎ弾、銚子地域集會 設定さす。

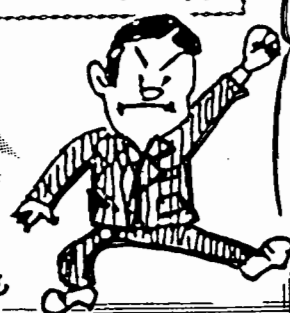
11月19日(土)17時半、
銚子市・コミュニティセンター。主催・動労千葉銚子支部
(市役所となり) 協賛・銚子地区労

30万国鉄労働者は
ストライキで
10万人首切りを
粉碎せよ

11.17集会をストライキ
突入宣言の場とし、
11月末ストライキへ
進撃する

全国鉄労働者総決起集会

11月17日(日)正午
日比谷野外音楽堂(集会後 国鉄本社抗議デモ)
主催 国鉄千葉動力車労働組合



おひらきおひらき
おひらきおひらき
おひらきおひらき
おひらきおひらき